



令和7年度 博物館を利用した教育プログラム研修会

教員のための博物館の日 2025

福島県立博物館

授業や総合的な学習(探究)で

「博物館」を活用しませんか？

「子どもたちに体験から学んでもらいたい」「地域の史跡や遺物はどう活用できるのかな」「新たな知識を身につけたい」などの先生方の思いを実現できるよう、博物館の活用の仕方や、様々な取り組みを紹介します。今後の教育活動に生かせるヒントがきっと見つかる研修になるはずです。ぜひご参加ください！



日時 令和7年8月5日(火)

9:50~15:00

場所 福島県立博物館(会津若松市城東町1-25)

定員 30名(先着順)

対象 教員、公民館・社会教育関係者、
その他生涯学習・ミュージアムに関心をお持ちの方
(教員の方でなくても参加できます)

「教員のための博物館の日」とは…
国立科学博物館が、学校の先生方に
「博物館に親しみを持ってもらう」
「博物館の資源を知ってもらう」こ
とを目的として2008年に始めた事業
です。

主催 福島県立博物館

共催 国立科学博物館

公益財団法人日本博物館協会

後援 文部科学省

日程・内容と申込方法については裏面をご覧ください。

日程・内容

9:30	受付
9:50~10:00	開会
10:00~10:40	考古分野 「会津大塚山古墳をテーマにした地域学習」 会津若松市の市街地にある「会津大塚山古墳」は三角縁神獣鏡が出土したことで全国でもその名が知られている日本古代史上重要な遺跡です。当館考古分野では、どのような古墳なのか分かりやすくご紹介する各種講座を行っております。今回はこれまでにやってきた実践例をご紹介します。
10:45~11:25	自然分野 「魚の耳石について」 私たち脊椎動物の耳の中には、砂粒のような組織（耳石）が入っていて、平衡感覚や聴覚に役立っています。魚の耳石は、種類によって形や大きさが違うことから、福島県立博物館では耳石の化石を研究しています。魚から耳石を取り出したり、砂から化石を探したりして、身近なものから自然を知るヒントをお伝えします。
11:30~12:00	連携協働班 「学習を目的とした遠隔観覧プログラムの活用について」 当館で実施している遠隔観覧プログラムについて説明いたします。オンラインで遠隔操作できるカメラロボットを用いて、教室にしながら博物館を見学することができます。学習旅行の事前・事後学習にもおすすめです。
12:00~13:00	昼食
13:00~13:40	災害分野 「防災教育のススメ」 震災遺産の資料や楽しいワークショップを通して災害について話し合いながら考えるプログラムをご紹介します。震災を知らない世代が、「震災遺産と問い」を使用した授業や簡単な工作などを通して災害時のそなえについて少しでも自分事として考えられるようなプログラムを実践例とともにご案内します。防災教育でお困りの先生たちに博物館がお手伝いします。
13:45~14:25	歴史分野・民俗分野 「市のうつりかわりー会津若松市を例にー」 小学校3年生「市の様子の移り変わり」に対応したプログラムです。昭和戦前に撮影された大雪の映像や博物館の資料を使って、町と人々の暮らしの変化を考えます。
14:30~14:50	意見交換会 博物館や研修に求めること、授業や行事などでの各校の取り組み、疑問や質問など、様々な意見や情報を参加者で共有していきます。
14:50~15:00	アンケート記入・閉会
15:00	解散 ご希望の方は見学研修へ

お知らせ

昼食に、当館の雪国ものづくり食堂「つきない」で、研修会限定特製ランチ（メインディッシュ＋小鉢4品＋ご飯＋味噌汁で税込¥1000）はいかがですか。事前予約にてご用意いたします。
※昼食をご持参する場合は会場（実習室）で飲食可能です。

申し込みについて

申込期間 令和7年4月15日（火）から、7月4日（金）17時まで。

申込方法

メール件名「教員のための博物館の日参加希望」として、本文に

「①氏名（ふりがな）、②所属・職、③e-mail アドレス、④昼食時のランチ予約の有無」を

お書きいただき、当館代表アドレス（general-museum@fcs.ed.jp）宛にお申込みください。

※定員になり次第締め切りとなります。返信メールと当館ホームページをご確認ください。